

防災 のススメ

地震から身を守るために

町では、これまでに大きな地震は経験ありませんが、町で起こり得る最大の地震は、直下型でマグニチュード6.9、震度は6弱と想定されています。^{*}地震は、いつどこで起こるか分かりません。外出先で巻き込まれるおそれもあります。地震が発生したときには、安全な行動をとれるようにしましょう。

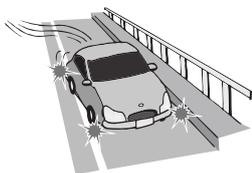
^{*}北海道総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所の調査による

揺れの強さについて

緊急地震速報(予報)		緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半が揺れに気付く。	大半が揺れに驚く。	物につかまりたいと感じる。	行動に支障が出る。	立っているのが困難。	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れに翻弄(ほんろう)され、動くこともできず、飛ばされることもある。	
						

地震が発生したとき(緊急地震速報を受信したら)

- 家では丈夫な机の下など、安全な場所に避難する。
- 運転中はハザードランプを点灯し、緩やかに速度を落とす。道路の左側に停止し、エンジンを切る。
- 施設内では係員の指示に従う。あわてて出口に走らない。
- 外にいるときはブロック塀の倒壊、看板やガラスの落下に注意。



地震が発生した後

- スリッパなどはき、転倒した家具やガラスの破片などに気を付ける。
- 揺れが収まったら火の始末をする。
- 窓や戸を開け、出口を確保する。
- テレビ、ラジオ、役場などの情報から正しく状況を把握する。



喜びと悲しみ(敬称略)

- ご出生おめでとうございます
○南 公一郎 男児 尚杜(なおと) 本町 2/13
加奈
- ご結婚おめでとうございます
○谷本 一樹・上野 沙利美 西町 2/22
- お悔やみ申し上げます
○小木 實 64歳 秋田 2/15

人の動き

- 世帯数 1,449世帯(+1世帯)
 - 人口 2,914人(±0人)
 - 男 1,351人(+2人) 女 1,563人(-2人)
- 平成31年2月28日現在()内は1月末比

編集
後記

☆卒業式、一つの山を越えた卒業生の晴れやかな笑顔と立派な姿が眩しく、誇りに思います。遠くに見える新たな山を目指して、一步踏み出す子ども達にエールを送ります。 (祐)